



担い手経営革新促進事業

担い手経営革新モデルの実践事業

モデル経営体取組事例集



平成22年3月

島根県担い手育成総合支援協議会

【目次】

■ はじめに 島根県担い手育成総合支援協議会 会長 板持庸

■ 経営革新モデルで導入を位置づける新技術の内容

■ 将来の理想的な土地利用型経営の姿（経営革新モデル）

■ 取り組み地域の概要

■ モデル経営体の取り組み成果

【松江八束地域】

松江市	株式会社	カンドーファーム	家族経営	⑥	水稻＋麦＋そば
松江市	農事組合法人	みのりの里講武	生産組織	⑦	水稻＋大豆
東出雲町	特定農業団体	須田三沢営農組合	生産組織	⑧	水稻＋麦＋大豆

【安来地域】

安来市	農事組合法人	ファーム宇賀荘	生産組織	⑦	水稻＋大豆
-----	--------	---------	------	---	-------

【雲南地域】

飯南町	農事組合法人	眞栄グループ	生産組織	⑦	水稻＋大豆
-----	--------	--------	------	---	-------

【出雲市】

出雲市	特定農業団体	やしま営農組合	生産組織	⑬	水稻＋麦＋そば
出雲市	特定農業団体	新田後営農組合	生産組織	⑧	水稻＋麦＋大豆
出雲市	特定農業団体	横浜集落営農組合	生産組織	⑭	水稻＋麦＋露地野菜
出雲市	特定農業団体	下出来洲営農組合	生産組織	⑩	水稻＋麦＋飼料作物

【斐川町】

斐川町	古川 周二		家族経営	①	水稻＋麦＋大豆
斐川町	特定農業団体	黒目上営農組合	生産組織	⑧	水稻＋麦＋大豆
斐川町	特定農業団体	おきす営農組合	生産組織	⑨	水稻＋麦＋ひまわり
斐川町	特定農業団体	土手町上組生産組合	生産組織	⑩	水稻＋麦＋飼料作物
斐川町	特定農業団体	求院営農組合	生産組織	⑪	水稻＋麦＋大豆＋露地野菜
斐川町	特定農業団体	川東営農組合	生産組織	⑭	水稻＋麦＋露地野菜

【江津市】

江津市	有限会社	反田組	生産組織	⑱	水稻＋大豆＋露地野菜
江津市	農事組合法人	小田営農組合	生産組織	⑰	水稻＋大豆

はじめに

担い手経営革新促進事業の担い手経営革新モデルの実践事業は、水田経営所得安定対策（品目横断的経営安定対策）加入者の更なる経営発展を促進するため、島根県担い手育成総合支援協議会が策定した担い手経営革新促進計画に基づき、規模拡大や対象品目の生産集約に資する経営革新の取り組みを支援する事業で、平成19年度から3か年間事業を実施しました。

担い手経営革新促進計画では、労働力配分の合理化・土地利用の合理化・資本装備の効率化を目指し、コスト削減や労働時間低減を行うことができる技術を掲げ、担い手が目指すべき理想的な経営の姿、推進すべき新技術等を定めています。当県においては合計18の経営革新モデルを策定しました。

島根県担い手育成総合支援協議会では、各地域担い手育成総合支援協議会と連携し大規模土地利用型農業の担い手にふさわしい技術の導入・普及を推進するため、平成19年度は19モデル経営体、平成20年度は3モデル経営体を追加指定し、合計22モデル経営体で革新的技術等の普及を図ってきたところです。

この度、3ヶ年の事業を総括し、各モデル経営体の実証経過をまとめたことで、今後の土地利用型農業の発展に向けた課題の一端を整理することができたと考えています。

事業を実施したモデル経営体がますます発展することを祈念するとともに、各地域ではモデル経営体の取り組みを参考に、土地利用型作物の革新的技術が一層普及することを願っています。

平成22年3月

島根県担い手育成総合支援協議会
会長 板持 庸

■ 経営革新モデルで導入を位置づける新技術の内容

項目	技術の名称	技術の内容	難易度	導入効果
①労働力配分の合理化	直播栽培技術	水稻の高精度（カルバーコーティングを用いた）湛水条播技術	A	育苗コスト等の削減、低減
		水稻の動力散布機（カルバーコーティングを用いた）散播栽培	B	育苗コスト等の削減、機械コストの低減
	不耕起栽培技術	麦又は大豆の中耕培土作業を省略する安定多収・省力化栽培	A	作業時間低減
	野菜の省力栽培技術	露地野菜の機械移植栽培技術	A	作業時間低減
		収穫機を用いたたまねぎの収穫作業	A	水稻品質、食味向上による販売環境の改善
②土地利用の合理化	高度施肥管理技術	水稻の生育診断（葉色診断、莖数調査）による施肥マニュアル（島根県版）に基づき、施肥の時期や量をきめ細かに診断し、高度な施肥管理を行う技術	B	麦、大豆、露地野菜の収量・品質の向上
		麦、大豆、飼料作物、そば、ひまわり、露地野菜の土壌診断に基づく適正施肥	B	適期播種作業の実施による湿害回避、収量及び品質の向上
③資本装備の効率化	耕起・施肥・播種同時作業技術	麦又は大豆の耕起、施肥、播種等の複数の作業を同時に行う技術	B	機械コスト低減
	多目的管理作業技術	水稻、麦、大豆、露地野菜の防除（麦、大豆については雑草防除含む）、施肥等、複数の作業を行える機械の導入	A	機械コスト低減 防除、施肥作業労力の低減
		自走式畦畔除草機の導入	A	畦畔管理労力の低減
	汎用収穫機の利用技術	水稻、麦、大豆の収穫可能な汎用コンバインの導入	A	機械コストの低減
		水稻、麦の収穫可能な自脱型コンバインの導入	C	

■ 将来の理想的な土地利用型経営の姿 (経営革新モデル)

【モデル①】

経営形態	家族経営
モデルの種類	平地モデル
作付体系	水稲単作 + (麦 + 大豆)
経営規模	約 15ha
水稲	コシヒカリ (直播) 4ha程度 きぬむすめ 2.5ha程度 ハナエ子ゼン 2.5ha程度 ピール麦 6ha程度 大豆 (乾燥調整委託) 6ha程度
麦	
豆	
労働力	基幹1名、補助1名
導入を位置付ける新技術	<ul style="list-style-type: none"> ・水稲の直播栽培技術 ・水稲の高度施肥管理技術 ・麦・大豆の土壌診断に基づく施肥 ・耕起・施肥・播種同時作業技術 ・多目的管理作業技術 ・ハイクリップームスプレーヤ ・汎用収穫機の利用技術 ・水稲、麦の自脱型コンバイン
機械装備	トラクター(30馬力級)×1台、側条施肥田植機(6条)、自脱型コンバイン(3条)、大豆用施肥播種機(3条)、ハイクリップームスプレーヤ、大豆コンバイン外
労働時間 (hr/10a)	2,852時間 (対県平均9割) (うち水稲13~22、ビール麦6、大豆11)
経営費 (万円/10a)	1,316万円 (対県平均9割) (うち水稲6.6~8.4、ビール麦3.4、大豆5.6)
目標所得 (万円/10a)	85.1万円程度 (対県平均1.1割) (うち水稲3.7~5.3、ビール麦6.0、大豆3.0)

【モデル②】

経営形態	家族経営
モデルの種類	平地モデル
作付体系	水稲単作 + 麦
経営規模	約 17ha
水稲	コシヒカリ (直播) 3ha程度 きぬむすめ 3ha程度 ハナエ子ゼン 2ha程度 ピール麦 6ha程度
麦	
豆	
労働力	基幹1名、補助1名
導入を位置付ける新技術	<ul style="list-style-type: none"> ・水稲の直播栽培技術 ・水稲の高度施肥管理技術 ・麦の土壌診断に基づく施肥 ・多目的管理作業技術 ・ハイクリップームスプレーヤ ・汎用収穫機の利用技術 ・水稲、麦の自脱型コンバイン
機械装備	トラクター(30馬力級)×1台、多目的田植機(6条)、湛水条播機、自脱型コンバイン(3条)、ハイクリップームスプレーヤ
労働時間 (hr/10a)	2,409時間 (対県平均9割) (うち水稲13~22、ビール麦6)
経営費 (万円/10a)	1,289万円 (対県平均9割) (うち水稲6.6~8.4、ビール麦3.4)
目標所得 (万円/10a)	57.9万円程度 (対県平均1.1割) (うち水稲3.7~5.3、ビール麦6.0)

【モデル③】

経営形態	家族経営
モデルの種類	平地モデル
作付体系	水稲単作＋大豆
経営規模	約 17ha
水稲	コシヒカリ 3ha程度 きぬむすめ (直播) 3ha程度 きぬむすめ 3ha程度 ハナエチゼン 2ha程度
麦類	大豆 (乾燥調整委託) 6ha程度
労働力	基幹1名、補助1名
導入を位置付ける新技術	<ul style="list-style-type: none"> ・水稲の直播栽培技術 ・水稲の高度施肥管理技術 ・大豆の土壌診断に基づく施肥 ・耕起・施肥・播種同時作業技術 ・施肥播種機(大豆) ・多目的管理作業技術 ・ハイクリップームスプレーヤー ・汎用収穫機の利用技術
機械装備	トラクター(30馬力級)×1台、側条施肥田植機(6条)、自脱型コンバイン(3条)、大豆用施肥播種機(3条)、ハイクリップームスプレーヤー、大豆コンバイン外
労働時間 (hr/10a)	2, 691時間 (対県平均9割) (うち水稲13~22、大豆11)
経営費 (万円/10a)	1, 351万円 (対県平均9割) (うち水稲6.6~8.4、大豆5.6)
目標所得 (万円/10a)	466万円程度 (対県平均11割) (うち水稲3.7~5.3、大豆3.0)

【モデル④】

経営形態	家族経営
モデルの種類	平地モデル
作付体系	水稲単作＋(麦＋飼料作物)
経営規模	約 15ha
水稲	コシヒカリ 3ha程度 きぬむすめ (直播) 3ha程度 きぬむすめ 3ha程度 ハナエチゼン 1ha程度 ピール麦 5ha程度
麦類	飼料作物 5ha程度
労働力	基幹1名、補助1名
導入を位置付ける新技術	<ul style="list-style-type: none"> ・水稲の直播栽培技術 ・水稲の高度施肥管理技術 ・麦、飼料作物の土壌診断に基づく施肥 ・多目的管理作業技術 ・ハイクリップームスプレーヤー ・汎用収穫機の利用技術 ・水稲、麦の自脱型コンバイン
機械装備	トラクター(30馬力級)×1台、多目的田植機(6条)、湛水条播機、自脱型コンバイン(3条)、ハイクリップームスプレーヤー
労働時間 (hr/10a)	2, 535時間 (対県平均9割) (うち水稲13~22、ピール麦6、飼料作物3)
経営費 (万円/10a)	1, 230万円 (対県平均9割) (うち水稲6.6~8.4、ピール麦3.4、飼料作物0.9)
目標所得 (万円/10a)	647万円程度 (対県平均11割) (うち水稲3.7~5.3、ピール麦6.0、飼料作物3.9)

【モデル⑤】

経営形態	家族経営
モデルの種類	平地モデル
作付体系	水稲単作＋大豆＋飼料作物
経営規模	約 17ha
水稲	コシヒカリ (直播) 3ha程度 きぬむすめ 3ha程度 きぬむすめ 3ha程度 ハナエ子ゼン 1ha程度
麦	大豆 (乾燥調整委託) 5ha程度
豆	飼料作物 2ha程度
労働力	基幹1名、補助1名
導入を位置付ける新技術	<ul style="list-style-type: none"> ・水稲の直播栽培技術 ・水稲の高度施肥管理技術 ・大豆・飼料作物の土壤診断に基づく施肥 ・耕起・施肥・播種同時作業技術 ・施肥播種機(大豆) ・多目的管理作業技術 ・ハイクリブームスプレヤー
機械装備	トラクター(30馬力級)×1台、側条施肥田植機(6条)、自脱型コンバイン(3条)、大豆用施肥播種機(3条)、ハイクリブームスプレヤー、大豆コンバイン外
労働時間 (hr/10a)	2,445時間 (対県平均9割) (うち水稲13~22、大豆11、飼料作物3)
経営費 (万円/10a)	1,293万円 (対県平均9割) (うち水稲6.6~8.4、大豆5.6、飼料作物0.9)
目標所得 (万円/10a)	411万円程度 (対県平均1.1割) (うち水稲3.7~5.3、大豆3.0、飼料作物3.9)

【モデル⑥】

経営形態	家族経営
モデルの種類	平地モデル
作付体系	水稲単作＋(麦＋そば)
経営規模	約 15ha
水稲	コシヒカリ (直播) 3ha程度 きぬむすめ 3ha程度 きぬむすめ 3ha程度 ハナエ子ゼン 1ha程度 小麦 5ha程度
麦	
豆	そば 5ha程度
労働力	基幹1名、補助1名
導入を位置付ける新技術	<ul style="list-style-type: none"> ・水稲の直播栽培技術 ・水稲の高度施肥管理技術 ・麦、そばの土壤診断に基づく施肥 ・多目的管理作業技術 ・ハイクリブームスプレヤー ・汎用収穫機の利用技術 ・水稲、麦の自脱型コンバイン
機械装備	トラクター(30馬力級)×1台、多目的田植機(6条)、減水条播機、自脱型コンバイン(3条)、ハイクリブームスプレヤー
労働時間 (hr/10a)	3,550時間 (対県平均9割) (うち水稲13~22、小麦6、そば28)
経営費 (万円/10a)	1,272万円 (対県平均9割) (うち水稲6.6~8.4、小麦3.4、そば1.6)
目標所得 (万円/10a)	656万円程度 (対県平均1.1割) (うち水稲3.7~5.3、小麦6.0、そば3.9)

【モデル7】

経営形態	家族経営
モデルの種類	平地モデル
作付体系	水稲単作十(大豆十(麦十露地野菜(キャベツ)))
経営規模	約 15ha
水稲	コシヒカリ(直播) 3ha程度 きぬむすめ 3ha程度 きぬむすめ 3ha程度 ハナエチゼン 1ha程度 ピール麦 4ha程度 大豆(乾燥調整委託) 5ha程度 キャベツ 1ha程度
麦	
露地野菜	
労働力	基幹1名、補助1名
導入を位置付ける新技術	<ul style="list-style-type: none"> 水稲の直播栽培技術 野菜の省力栽培技術 大豆、麦の露地野菜の土壌診断に基づく適正施肥 耕起・施肥・播種同時作業技術(施肥播種機(大豆)) 多目的管理作業技術(ハイクリップームスプレーヤ) 汎用収穫機の利用技術 水稲、麦の自脱型コンバイン
機械装備	トラクター(30馬力級)×1台、多目的田植機(6条)、湛水条播機、自脱型コンバイン(3条)、大豆用施肥播種機(3条)、ハイクリップームスプレーヤ、キャベツ移植機
労働時間(hr/10a)	3,622時間(対県平均9割) (うち水稲13~22、ピール麦6、大豆11、キャベツ101)
経営費(万円/10a)	1,824万円(対県平均9割) (うち水稲6.6~8.4、ピール麦3.4、大豆5.6、キャベツ2.72)
目標所得(万円/10a)	599万円程度(対県平均1.1割) (うち水稲3.7~5.3、ピール麦6、大豆3.0、キャベツ15.9)

【モデル8】

経営形態	生産組織
モデルの種類	平地モデル
作付体系	水稲単作十(麦十大豆)
経営規模	約 30ha
水稲	コシヒカリ 7ha程度 きぬむすめ(直播) 3ha程度 きぬむすめ 5ha程度 ハナエチゼン 5ha程度 ピール麦 10ha程度 大豆(乾燥調整委託) 10ha程度
麦	
豆	
労働力	基幹3名、補助5名
導入を位置付ける新技術	<ul style="list-style-type: none"> 水稲の直播栽培技術 水稲の高度施肥管理技術 麦、大豆の土壌診断に基づく適正施肥 耕起・施肥・播種同時作業技術 施肥播種機(大豆) 多目的管理作業技術 ハイクリップームスプレーヤ 汎用収穫機の利用技術 水稲、麦の自脱型コンバイン
機械装備	トラクター(30馬力級)×1台、多目的田植機(6条)、湛水条播機、自脱型コンバイン(3条)、大豆用施肥播種機(3条)、ハイクリップームスプレーヤ、大豆コンバイン
労働時間(hr/10a)	5,426時間(対県平均9割) (うち水稲13~22、ピール麦6、大豆11)
経営費(万円/10a)	2,372万円(対県平均9割) (うち水稲6.6~8.4、ピール麦3.4、大豆5.9)
目標所得(万円/10a)	1,807万円程度(対県平均1.1割) (うち水稲3.7~5.3、ピール麦6.0、大豆2.8)

【モデル⑨】

経営形態	生産組織
モデルの種類	平地モデル
作付体系	水稲単作十(麦+ひまわり)
経営規模	約 30 ha
水稲	7ha程度 3ha程度 5ha程度 5ha程度 10ha程度 10ha程度
麦類 ひまわり	コシヒカリ きぬむすめ(直播) ハナエチゼン ビール麦 ひまわり
労働力	基幹3名、補助5名
導入を位置付ける新技術	<ul style="list-style-type: none"> 水稲の直播栽培技術 水稲の高度施肥管理技術 麦、ひまわりの土壤診断に基づく適正施肥 多目的管理作業技術 ハイクリブームスプレーヤ 汎用収穫機の利用技術 水稲、麦の自脱型コンバイン
機械装備	トラクター(30馬力級)×1台、多目的田植機(6条)、湛水条播機、自脱型コンバイン(3条)、大豆用施肥播種機(3条)、ハイクリブームスプレーヤ
労働時間(hr/10a)	4, 956時間(対県平均9割) (うち水稲13~22、ビール麦6、ひまわり6)
経営費(万円/10a)	2, 079万円(対県平均9割) (うち水稲6.6~8.4、ビール麦7.7、大豆5.7)
目標所得(万円/10a)	1, 804円程度(対県平均1.1割) (うち水稲3.7~5.3、ビール麦4.8、ひまわり4.0)

【モデル⑩】

経営形態	生産組織
モデルの種類	平地モデル
作付体系	水稲単作十(麦+飼料作物)
経営規模	約 30 ha
水稲	7ha程度 3ha程度 5ha程度 5ha程度 10ha程度 10ha程度
麦類 飼料作物	コシヒカリ きぬむすめ(直播) ハナエチゼン 麦 飼料作物
労働力	基幹3名、補助5名
導入を位置付ける新技術	<ul style="list-style-type: none"> 水稲の直播栽培技術 水稲の高度施肥管理技術 麦、飼料作物の土壤診断に基づく適正施肥 多目的管理作業技術 ハイクリブームスプレーヤ 汎用収穫機の利用技術 水稲、麦の自脱型コンバイン
機械装備	トラクター(30馬力級)×1台、多目的田植機(6条)、湛水条播機、自脱型コンバイン(3条)、大豆用施肥播種機(3条)、ハイクリブームスプレーヤ
労働時間(hr/10a)	4, 776時間(対県平均9割) (うち水稲13~22、ビール麦6、飼料作物3)
経営費(万円/10a)	1, 904万円(対県平均9割) (うち水稲6.6~8.4、ビール麦7.7、飼料作物0.9)
目標所得(万円/10a)	1, 858万円程度(対県平均1.1割) (うち水稲3.7~5.3、ビール麦4.8、飼料作物3.6)

【モデル(1)】

経営形態	生産組織	
モデルの種類	平地モデル	
作付体系	水稲単作＋(大豆＋(麦＋露地野菜(たまねぎ)))	
経営規模	約 30 ha	
水稲	7ha程度	
きぬむすめ	3ha程度	
きぬむすめ(直播)	5ha程度	
ハナエ子ゼン	5ha程度	
ピエール麦	8ha程度	
大豆(乾燥調整委託)	10ha程度	
露地野菜	たまねぎ 2ha程度	
労働力	基幹3名、補助5名	
導入を位置付ける新技術	<ul style="list-style-type: none"> ・水稲の直播栽培技術 ・野菜の省力栽培技術 ・大豆、露地野菜の土壌診断に基づく適正施肥 ・大起・施肥・播種同時作業技術(施肥播種機(大豆)) ・多目的管理作業技術(ハイクリップームスプレーヤ) ・汎用収穫機の利用技術 	
機械装備	トラクター(30馬力級)×1台、多目的田植機(6条)、澁水条播機、自脱型コンバイン(3条)、大豆用施肥播種機(3条)、ハイクリップームスプレーヤ、たまねぎ収穫機	
労働時間(hr/10a)	8, 868時間(対県平均9割) (うち水稲13~22、ビール麦6、大豆11、たまねぎ178)	
経営費(万円/10a)	2, 967万円(対県平均9割) (うち水稲6.6~8.4、ビール麦3.5、大豆6.2、たまねぎ31.3)	
目標所得(万円/10a)	1, 964万円程度(対県平均1割) (うち水稲3.7~5.3、ビール麦5.9、大豆2.5、たまねぎ15.7)	

【モデル(2)】

経営形態	生産組織	
モデルの種類	平地モデル	
作付体系	水稲単作＋麦	
経営規模	約 30 ha	
水稲	7ha程度	
きぬむすめ	3ha程度	
きぬむすめ(直播)	5ha程度	
ハナエ子ゼン	5ha程度	
小麦	10ha程度	
労働力	基幹2名、補助4名	
導入を位置付ける新技術	<ul style="list-style-type: none"> ・水稲直播栽培技術 ・水稲の高度施肥管理技術 ・麦の土壌診断に基づく適正施肥 ・多目的管理作業技術 ・ハイクリップームスプレーヤ ・汎用収穫機の利用技術 	
機械装備	トラクター(30馬力級)×1台、多目的田植機(6条)、澁水条播機、自脱型コンバイン(3条)、大豆用施肥播種機(3条)、ハイクリップームスプレーヤ	
労働時間(hr/10a)	4, 376時間(対県平均9割) (うち水稲13~22、小麦6)	
経営費(万円/10a)	1, 863万円(対県平均9割) (うち水稲6.7~8.5、小麦4)	
目標所得(万円/10a)	1, 450万円程度(対県平均1割) (うち水稲3.6~5.2、小麦5.5)	

【モデル⑬】

経営形態	生産組織
モデルの種類	平地モデル
作付体系	水稻単作十(麦+そば)
経営規模	約 30 ha
水稻	7ha程度 3ha程度 5ha程度 5ha程度 10ha程度 10ha程度
麦	きぬむすめ(直播)
そば	ハナエチゼン 小麦 そば
労働力	基幹3名、補助5名
導入を位置付ける新技術	<ul style="list-style-type: none"> ・水稻直播栽培技術 ・水稻の高度施肥管理技術 ・麦、そばの土壌診断に基づく適正施肥 ・多目的管理作業技術 ・ハイクリブームスフレーヤ ・汎用収穫機の利用技術 ・水稻、麦の自脱型コンバイン
機械装備	トラクター(30馬力級)×1台、多目的田植機(6条)、湛水条播機、自脱型コンバイン(3条)、大豆用施肥播種機(3条)、ハイクリブームスフレーヤ
労働時間(hr/10a)	7、17.6時間(対県平均9割) (うち水稻13~22、小麦6、そば28)
経営費(万円/10a)	1、98.6万円(対県平均9割) (うち水稻6.6~8.4、小麦3.8、そば1.6)
目標所得(万円/10a)	1、87.7万円程度(対県平均1.1割) (うち水稻3.7~5.3、小麦5.6、そば3.9)

【モデル⑭】

経営形態	生産組織
モデルの種類	平地モデル
作付体系	水稻単作十(麦+露地野菜(ブロッコリー))
経営規模	約 30 ha
水稻	7ha程度 3ha程度 5ha程度 5ha程度 10ha程度 2ha程度
麦	きぬむすめ(直播)
豆	ハナエチゼン 小麦 ブロッコリー
労働力	基幹3名、補助5名
導入を位置付ける新技術	<ul style="list-style-type: none"> ・水稻直播栽培技術 ・野菜の高度施肥管理技術 ・麦、露地野菜の土壌診断に基づく適正施肥 ・多目的管理作業技術 ・ハイクリブームスフレーヤ ・汎用収穫機の利用技術 ・水稻、麦の自脱型コンバイン
機械装備	トラクター(30馬力級)×1台、多目的田植機(6条)、湛水条播機、自脱型コンバイン(3条)、大豆用施肥播種機(3条)、ハイクリブームスフレーヤ
労働時間(hr/10a)	5、91.6時間(対県平均9割) (うち水稻13~22、小麦6、ブロッコリー77)
経営費(万円/10a)	2、200万円(対県平均9割) (うち水稻6.7~8.4、小麦3.6、ブロッコリー18.9)
目標所得(万円/10a)	1、91.6万円程度(対県平均1.1割) (うち水稻3.6~5.2、小麦5.9、ブロッコリー21.1)

【モデル(16)】

経営形態	家族経営
モデルの種類	中山間地モデル
作付体系	水稲単作+大豆+作業受託
経営規模	約 15 ha
水稲	コシヒカリ (直播) 1ha程度 きぬむすめ 1ha程度 ハナエチゼン 1ha程度 大豆 (乾燥調整委託) 2ha程度 水稲受託 6ha程度 大豆受託 4ha程度
麦	
豆	
労働力	基幹1名、補助1名
導入を位置付ける新技術	<ul style="list-style-type: none"> ・水稲直播栽培技術 ・水稲の省力栽培管理技術 ・大豆の高度施肥管理技術 ・耕起・施肥・播種同時作業技術 ・施肥播種機 (大豆) ・多目的管理作業技術 ・ハイクリブームスプレーヤ
機械装備	トラクター (30馬力級) ×1台、多目的田植機 (6条)、湛水条播機、自脱型コンバイン (3条)、大豆用施肥播種機 (3条)、ハイクリアランスブームスプレーヤ、大豆コンバイン (リース)
労働時間 (hr/10a)	1, 526時間 (対県平均9割) (うち水稲13~22、大豆11)
経営費 (万円/10a)	799万円 (対県平均9割) (うち水稲6.6~8.4、大豆7.8)
目標所得 (万円/10a)	391万円程度 (対県平均1.1割) (うち水稲3.7~5.3、大豆0.8)

【モデル(16)】

経営形態	家族経営
モデルの種類	中山間地モデル
作付体系	水稲単作+大豆+露地野菜 (キャベツ)
経営規模	約 15ha
水稲	コシヒカリ 3ha程度 きぬむすめ (直播) 3ha程度 きぬむすめ 3ha程度 ハナエチゼン 1ha程度 大豆 (乾燥調整委託) 3.5ha程度 キャベツ 1.5ha程度
麦	
豆	
労働力	基幹1名、補助1名
導入を位置付ける新技術	<ul style="list-style-type: none"> ・水稲直播栽培技術 ・野菜の省力栽培技術 ・水稲の高度施肥管理技術 ・大豆の露地野菜の土壌診断に基づく適正施肥 ・耕起・施肥・播種同時作業技術 ・施肥播種機 (大豆) ・多目的管理作業技術 ・ハイクリブームスプレーヤ
機械装備	トラクター (30馬力級) ×1台、多目的田植機 (6条)、湛水条播機、自脱型コンバイン (3条)、大豆用施肥播種機 (3条)、ハイクリアランスブームスプレーヤ、大豆コンバイン (リース)
労働時間 (hr/10a)	3, 735時間 (対県平均9割) (うち水稲13~22、大豆11、キャベツ101)
経営費 (万円/10a)	1, 619万円 (対県平均9割) (うち水稲6.6~8.4、大豆7.8、キャベツ272)
目標所得 (万円/10a)	511万円程度 (対県平均1.1割) (うち水稲移植3.7~5.3、大豆0.8、キャベツ159)

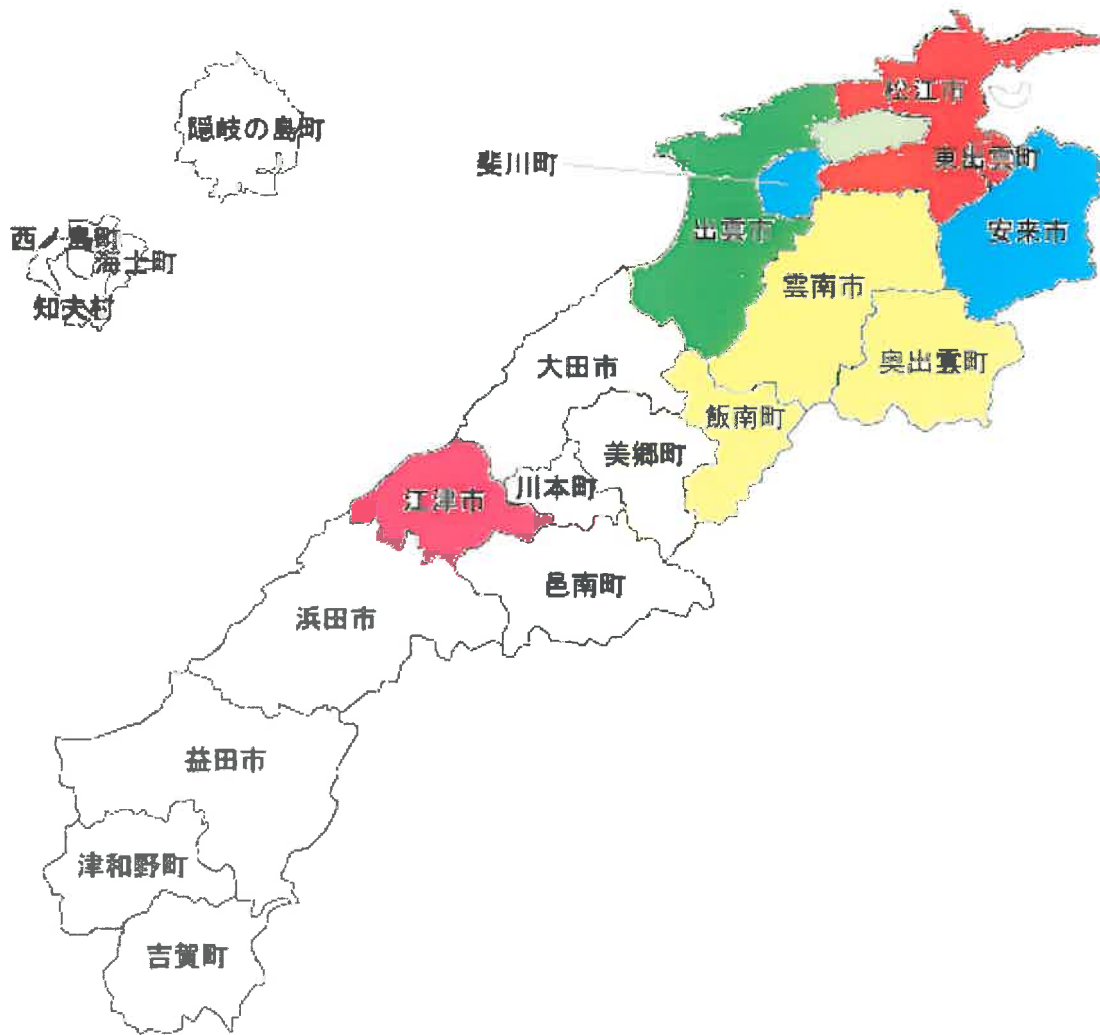
【モデル⑦】

経営形態	生産組織	
モデルの種類	中山間地モデル	
作付体系	水稲単作+大豆	
経営規模	約 25 ha	
水稲	コシヒカリ きぬむすめ(直播) ハナエチゼン	8ha程度 3ha程度 4ha程度
麦		
豆	大豆(乾燥調整委託)	10ha程度
労働力	基幹2名、補助1名	
導入を位置付ける新技術	<ul style="list-style-type: none"> ・水稲直播栽培技術 ・水稲の高度施肥管理技術 ・大豆の土壌診断に基づく適正施肥 ・耕起・施肥・播種同時作業技術 ・施肥播種機(大豆) ・多目的管理作業技術 ハイクリブームスプレーヤ	
機械装備	トラクター(30馬力級)×1台、多目的田植機(6条)、澁水条播機、自脱型コンバイン(3条)、大豆用施肥播種機(3条)、ハイクリアランスブームスプレーヤ、大豆コンバイン(リース)	
労働時間(hr/10a)	4,191時間(対県平均9割) (うち水稲13~22、大豆11)	
経営費(万円/10a)	1,728万円(対県平均9割) (うち水稲6.6~8.4、大豆7.8)	
目標所得(万円/10a)	929万円程度(対県平均1.1割) (うち水稲移植3.7~5.3、大豆0.8)	

【モデル⑧】

経営形態	生産組織	
モデルの種類	中山間地モデル	
作付体系	水稲単作+大豆+露地野菜(キャベツ)	
経営規模	約 25 ha	
水稲	コシヒカリ きぬむすめ(直播) きぬむすめ ハナエチゼン	7ha程度 3ha程度 3ha程度 2ha程度
麦		
豆	大豆(乾燥調整委託) キャベツ	8ha程度 2ha程度
労働力	基幹2名、補助1名	
導入を位置付ける新技術	<ul style="list-style-type: none"> ・水稲直播栽培技術 ・野菜の省力栽培技術 ・水稲の高度施肥管理技術 ・大豆の露地野菜の土壌診断に基づく適正施肥 ・耕起・施肥・播種同時作業技術 ・施肥播種機(大豆) ・多目的管理作業技術 ハイクリブームスプレーヤ	
機械装備	トラクター(30馬力級)×1台、多目的田植機(6条)、澁水条播機、自脱型コンバイン(3条)、大豆用施肥播種機(3条)、ハイクリアランスブームスプレーヤ、大豆コンバイン(リース)	
労働時間(hr/10a)	5775時間(対県平均9割) (うち水稲13~22、大豆11、キャベツ101)	
経営費(万円/10a)	2,237万円(対県平均9割) (うち水稲6.6~8.4、大豆7.8、キャベツ272)	
目標所得(万円/10a)	1,096万円程度(対県平均1.1割) (うち水稲移植3.7~5.3、大豆0.8、キャベツ159)	

■ 取り組み地域の概要



担い手経営革新促進事業（担い手経営革新モデルの実践事業）
に取り組む地域担い手育成総合支援協議会

- 松江八東地域担い手育成総合支援協議会
- 安来地域担い手育成総合支援協議会
- 雲南地域担い手育成総合支援協議会
- 出雲市農業担い手育成総合支援協議会
- 斐川町担い手育成総合支援協議会
- 江津市農業担い手育成総合支援協議会

【松江八東地域】

松江八東地域（松江市、東出雲町）は、県東部に位置している。

平成 17 年農林業センサスでは、地域の耕地面積は 4,919ha で県全体の 12.5%を占め、両市町合わせての農業産出額は、59.1 億円で県割合の 9%余りである。

特徴的な作物としては、湖北地域の早場米、広く栽培されているトマトなどの施設野菜、西条柿、県花にもなっているボタンが有名である。

近年では、生産調整の一貫として転作田でそばを栽培し、“玄丹そば”ブランドとして地元の蕎麦屋で扱われる他、焼酎にも加工されている。

当地域での平成 21 年度水田経営所得安定対策の加入者は 60 経営体。

【安来地域】

安来市は県東端に位置し鳥取県と接している、耕地面積は 4,150ha で県割合の 10.5%を占めている。県内有数の農業地帯であり、一戸当たり耕地面積が 115a と大きい。平成 17 年度農林業センサスで、農業産出額は 60 億円で県割合の約 10%を占めている。

農業産出額で米の占める割合は 46%であるが、その他に特徴的な作物として、二十世紀梨、イチゴ、花卉、茶や葉たばこの栽培が盛んな地域である。

近年では、ほ場整備を契機として（農）ファーム宇賀荘など、大規模生産組織が設立されている。

当地域での平成 21 年度水田経営所得安定対策の加入者は 95 経営体。

【雲南地域】

雲南地域は県東南部に位置し、東は鳥取県、南は広島県に接する中国山地の分水嶺に位置している。標高差も 500m 以上あるが、モデル経営体の所在のある飯南町は、最も標高の高い地域である。雲南地域担い手育成総合支援協議会は、その他雲南市、奥出雲町から構成されている。

米は高品質米として評価が高く、畜産では「奥出雲和牛」として JA を中心として地域内一貫生産体制の確立を目指している。その他、野菜では先進的な事例として、水耕栽培の取り組みが拡大している。

平成 21 年度水田経営所得安定対策の加入者は奥出雲町で 25 経営体、雲南市で 38 経営体、飯南町で 20 経営体、地域の合計で 83 経営体が加入。

【出雲市】

出雲市は県東部に位置し、出雲平野を中心として営農が行われている県内屈

指の農業地帯である。平成 17 年農林業センサスでは、農業産出額は 106.5 億円で県全体の 17%を占めている。

水田経営所得安定対策（品目横断的経営安定対策）を契機として、特定農業団体の設立が加速化した。出雲市では担い手のカバーする農地面積は 40%を占めている。

出雲市ではその他にぶどう、柿、いちじくなどの果樹、ブロッコリー、青ネギなどの野菜の栽培が盛んである。

キリンピールとの契約栽培により、二条大麦の栽培を斐川町と行っている。

平成 21 年度の水田経営所得安定対策は、出雲市で 97 経営体が加入。

【斐川町】

斐川町は県東部に位置し、出雲市と並び出雲平野を中心として営農が行われている県内屈指の農業地帯である。平成 17 年農林業センサスでは、斐川町の農業産出額は 36.1 億円で県全体の 6%を占めている。

品目横断的経営安定対策（水田経営所得安定対策）を契機として、出雲市同様に特定農業団体の設立が加速したことで、斐川町では担い手のカバーする農地面積は 65%に達している。

斐川町では近年、ひまわりやハトムギといった土地利用型の新規作物の栽培も大規模に行われている。

また、契約栽培により二条大麦の栽培が盛んである。大豆の作付けは県内の 6 割を占める。

平成 21 年度の水田経営所得安定対策は、斐川町で 61 経営体が加入。

【江津市】

江津市は県の西部に位置し、北は日本海に面し、南は邑南町・川本町と境を接する中山間地域である。

平成 17 年農林業センサスでは農業就業人口は 1,146 人で、農業産出額は 12.2 億円と県内の農業産出額の 2%である。

農業の担い手は年々減少しているが、当地域は農外企業の農業参入が盛んで、近年は活気を帯びている。

江の川流域では、機能性食品原料としての麦若葉を新たな地域特産品に位置づけ、生産技術の向上、栽培面積の拡大、販売対策の強化を図り、高付加価値型農業の実践に取り組んでいる。

平成 21 年度の水田経営所得安定対策は江津市で 6 経営体が加入。

【平成 19 年度～平成 21 年度 島根県の水田経営所得安定対策加入状況】

〔加入申請状況〕

	認定農業者 (個人)	認定農業者 (法人)	特定農業団体等	計
平成 19 年度	364	91	52	517
平成 20 年度	359	113	78	550
平成 21 年度	371	122	81	574

〔品目別加入面積〕

	米	麦	大豆	計
平成 19 年度	3,348ha	567ha	572ha	4,487ha
平成 20 年度	3,920ha	621ha	602ha	5,144ha
平成 21 年度	4,119ha	630ha	574ha	5,323ha

〔品目別加入者面積カバー率〕(品目毎の全作付面積に対する割合)

	米	麦	大豆	計
平成 19 年度	17%	105%	45%	20%
平成 20 年度	20%	106%	48%	24%
平成 21 年度	20%	106%	48%	25%